

小浜市学校教育方針

郷土を愛し、よりよい小浜と日本の未来を創造しようとする児童生徒の育成を目指す

小浜市学校教育目標

- 1 ふるさとを愛する心、互いに認め合う心を育む
- 2 よりよい社会を創っていくために必要な資質・能力を育む
- 3 健康・安全で活力のある生活習慣を育む
- 4 食に関わる学びを深め、望ましい食習慣を育む



学校教育目標

すすんでかかわり 生き生きとくむ今富っ子の育成

育てたい基礎的・汎用的能力

思いを伝える 人を大切にする ヒト・コト・モノをつなぐ
 挑戦する 自分のよさに気づく

理想とする中学生像

仲間を大切に、協同する中学生
 自分事として課題を捉え、学ぼうとする中学生
 未知のことや困難なことに、挑戦する中学生

めざす子ども像

思いやりのある子
 思いや考えを伝えられる子
 健康でたくましい子

子どもが主体的にとりくむ授業づくり

子どもがモデルとなる学校づくり

【重点目標】

思いやりのある子 ～当たり前のことを当たり前～

- ① 集団生活のルールやマナーの定着
- ② 他者を思いやり認め合う心の醸成
- ③ ふるさとを愛するこころの涵養

思いや考えを伝えられる子 ～学ぶ意欲・考える力～

- ① 基礎・基本の定着
- ② 学習意欲と聴く力の向上
- ③ 家庭での学習習慣の形成

健康でたくましい子 ～自分のいのちは自分で守る～

- ① 健康な生活習慣の定着
- ② 運動習慣の定着
- ③ 安全意識の向上（交通、災害、不審者、情報モラル）

【具体的な取組】

【研究テーマ】

自ら学び 豊かに伝え合う子どもの育成

① 集団生活のルールやマナーの定着

- * あいさつ・返事・言葉遣い
 - * 無言清掃の徹底
- ② 他者を思いやり認め合うこころの醸成
- * 「分からない」「教えて」「ありがとう」が言いあえる学級づくり
 - * 日々の生活と関連づけた道徳授業
 - * 異学年交流の工夫
 - * 様々な人との出会いを生かした学習（人権集会、拉致問題学習、幼児や地域の方とのふれあい）
- ③ ふるさとを愛するこころの涵養
- * 地域に根ざしたふるさと学習の推進（様々な体験、五感を通した学び、学びの発信）

① 基礎・基本の定着

- * 3S黒板の活用（授業はじめのルーティン化）
 - * 学びに向かう態度の育成
 - ～聴き方「あいうえお」、話し方「かきくけこ」～
 - * 読書活動の充実
- ② 学習意欲と聴く力の向上
- * 「あ・い・う・え・お」のある授業づくり
 - ～期待される振り返りを設定して～
 - * ICTを効果的に活用した授業
 - * 外国語活動・外国語の授業の工夫
- ③ 家庭での学習習慣の形成
- * 家庭学習の手引きに基づく指導
 - * 自主学習ノートの活用

① 健康な生活習慣の定着

- * ノーメディアウィークの実施（いきいきチャレンジファイルの活用）
 - * 目と歯の健康プロジェクトの推進
 - * 食に関する授業の充実（全学級で年2回以上）
- ② 運動習慣の定着
- * 業間体育の充実（目標設定の工夫）
 - * 年3回運動意欲を高める教室の開催（器械運動教室、陸上競技教室、なわとび教室）
- ③ 安全意識の向上
- * 交通安全教室と避難訓練の実施
 - * 出前講座を活用した情報モラル教育の推進
 - * 不審者対応に向けた校内研修の実施

- ① 登下校時、自分から進んであいさつをする【80%】
- ② 「分からない」「教えて」「ありがとう」が言い合える【80%】
- ③ ふるさと小浜（今富）の良さが分かる【90%】

- ① 学年に応じて、話し方・聴き方が向上する【80%】
- ② 考えを伝え合うことで学習内容が分かる【90%】
- ③ 学年の目安に合わせて時間いっぱい家庭学習に取り組む【80%】

- ① 基本的な生活習慣を意識して生活する【80%】
- ② 体力づくりに積極的に取り組む【80%】
- ③ 家庭で決めた情報機器使用ルールを守って生活する【70%】

OJT機能の強化と業務改善

- * チームで取り組めるように校務分掌組織の見直しとチーム打ち合わせ時間の確保
- * タイムマネジメントに対する意識付け（タイムカードによる勤務時間の見える化）

家庭・地域との連携

- * 情報発信（各種たより・HP）・学校公開と密な連携を行うことにより、学校のファンを増やす